令和7年度事業計画

基本方針

人口減少・少子高齢化が進展し、高齢者のより一層の活躍が期待される中で、シルバー人材センターは、人生100年時代を見据え、高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、生きがいや居場所づくりとしての重要な役割を担っております。

一方、近年の物価高騰や令和5年10月から施行されたインボイス制度による諸経費の増大、令和6年11月に施行されたフリーランス法への対応、また令和7年4月から施行される公益法人制度の改正があり、シルバー人材センター事業を取り巻く環境が大きく変わっていきます。

こうした状況の中ではありますが、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、安全就業、新規会員の加入促進、就業機会の拡大等をはかり効率的で安定的な事業運営に努めてまいります。

また、「公益社団法人」として社会的信用を得るとともに、関係機関の皆様のご理解・ご支援をいただきながら、地域社会に貢献できるよう以下の事業に取り組んでまいります。

1. シルバー人材センター事業

1. 公益目的事業

(1) 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

① 受託調整

町内の高年齢者の生きがいの充実と福祉の推進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、高年齢者にふさわしい地域に密着した仕事を一般家庭・民間事業所・官公庁等から有償で受託し、会員へ提供するように努めます。

(2) 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

① 職業紹介

臨時的かつ短期的な仕事又はその他の軽易な業務に係る仕事を希望する町内の高年齢者を対象に、職業紹介による就業機会の提供に努めます。

② 労働者派遣

公益社団法人香川県シルバー人材センター連合会（以下「県連合会」という。）綾川事務所として、センターの会員を対象に労働者派遣による就業機会の提供に努めます。

(3) 上記(1)～(2)の事業を推進するための諸活動及びその他の社会参加活動を推進するための諸活動

① 普及啓発

シルバー事業への信頼と理解が得られるよう、一般家庭・民間事業所・官公庁等に対して周知啓発を行うとともに、会員の新規加入推進を図るための普及啓発に努めます。

- 1) 町広報誌への掲載
- 2) リーフレット・チラシ等を配布
- 3) 普及啓発月間における活動
- 4) ボランティア活動の推進
- 5) 各種イベントの参加を検討
- 6) 入会説明会の随時開催
- 7) ホームページの活用

② 安全・適正就業の推進

「安全は全てに優先」をモットーに、会員が自らの健康維持と安全確保に努めながら、センターから提供された仕事を安全かつ適正に遂行できるように、安全意識の高揚と啓発に努めつつ、適正・公平な就業を推進いたします。

- 1) 安全・適正就業推進委員会の開催
- 2) 安全就業パトロールの実施
- 3) 安全就業基準・適正就業基準の周知
- 4) 発注者への理解促進
- 5) 無事故達成記録ボード（県下シルバー統一作成）による安全意識向上

③ 調査・研究

シルバー事業を発展・拡充するため、会員や地域社会のニーズ等を調査して、質の向上や効率的な運営に努めます。

- 1) 会員の就業に関する意識調査
- 2) 発注者満足度アンケート調査

④ 就業分野の開拓・拡大

会員が自らの能力や希望に応じた就業機会を得られるように、公共団体や民間事業所等からの要望の把握に努め、仕事の需給調整や就業先の開拓・拡大に努めます。

- 1) 地域内の公共施設・民間事業所等を訪問して、新たな就業先の開拓を推進する。
- 2) 既存の発注者の潜在ニーズを掘り起こし、就業の拡大を図る。
- 3) ホームページ等を充実させて、適切な情報提供に努める。

⑤ 相談・情報提供

入会を希望する高年齢者を対象に随時、入会に関する相談対応に努めます。また、事業推進のための情報収集・提供に努めるとともに、香川県シルバー人材センター連合会主催の技能講習への参加を呼び掛けます。

⑥ 社会参加活動の推進

会員に社会参加活動の機会を提供し、多くの参加を呼び掛けてセンターの啓発・周知に努めます。

⑦ インボイス制度への対応

インボイス制度施行後も業務の効率化・顧問税理士との連携等により、安定的な事業運営に努めます。

⑧ フリーランス法への対応

フリーランス法施行に伴う対応としてデジタル化等を検討し、安定的な事業運営に努めます。

⑨ 公益法人制度改正への対応

令和7年4月から施行される公益法人制度改正に伴い、情報収集等を行い適切に対応できるよう努めます。

⑩ その他

綾川町まちかどほっと歓事業への協力機関として参加します。

2. 法人管理事業

(1) 会員の増強

シルバー事業には、会員の確保が重要であります。センターの基本理念を十分に理解し、技術・技能と就業に意欲のある会員の増強に努めます。

※ 会員数（年度末）150人程度の目標達成を目指します。

(2) 諸会議の開催

センターの維持運営及び事業運営の執行に関して、必要な会議を次のとおり開催します。

① 定時総会 1回（5月に開催予定）

② 理事会 3回（5月・11月・3月に開催予定）